



新年のご挨拶



沖縄電力健康保険組合

理事長 米須 健

あけましておめでとーいございます

事業主ならびに被保険者の皆さまには、お健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃より当健保組合の事業運営につきまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当健保組合における令和6年度決算は、保険料率引上げにより、保険料収入が前年度より約5億円増の25・7億円となりました。しかしながら、支出においては保険給付費(医療費)が10・4億円で3年連続10億円超、高齢者医療制度に係る国への拠出金は11・1億円で4年連続10億円を超える状況が続いております。4年ぶりに経常収支黒字となったものの、保険給付費や拠出金等の支出は高止まりが続くと見込まれていることから、依然として厳しい財政状況となっております。

また、令和8年度からは新たに「子ども・子育て支援金制度※」が始まります。当制度の支援金は健康保険組合が代行して徴収することとされておりますので、ご理解をお願いいたします。

加入者の皆さまにおかれましては、1年に1回は健康診断を受け、健診結果を確認し、医療機関の受診が必要とされた場合は、重症化予防の観点から自己判断はせず医療機関を受診していただきますようお願いいたします。また、特定保健指導の対象になった場合は、生活習慣改善のため、特定保健指導を必ず利用してください。皆さまが日頃から食事や運動による健康づくりに積極的に取り組んでいただくことで、健康状況が改善されるものと考えております。当健保組合も事業主と連携し、皆さまをサポートいたしますのでよろしくお願いいたします。

当健保組合につきましても、引き続き業務の効率化を図り、保健事業をはじめとする健保事業を事業主と協働で効果的・効率的に展開していけるよう努めてまいります。時節柄、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症予防に留意し、この一年を健やかに過ごしたいと思っております。

結びに、本年が皆さまにとって実り多き一年となりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

※子ども・子育て支援金制度は、全世代が子どもや子育て世代を支援する仕組みです。

